

令和元年 12月 2日
観測部
地球環境・海洋部

秋（9～11月）の天候

2019年（令和元年）秋（9～11月）の日本の天候は、全国的に気温が高く、東・西日本ではかなり高くなりました。北・東・西日本の日照時間は多くなりました。台風等の影響で各地で大雨や大荒れとなり、北・東日本太平洋側と沖縄・奄美の降水量は多くなりました。

2019年（令和元年）秋（9～11月）の天候の特徴は以下のとおりです。

○全国的に気温が高く、東・西日本ではかなり高くなりました
暖かい高気圧に覆われやすかったため全国的に気温が高く、特に南から暖かい空気が流れ込みやすかった東・西日本ではかなり高くなり、1946年の統計開始以来、秋の気温として最も高くなりました。

○北・東・西日本で日照時間が多くなりました
大陸から進んできた高気圧に覆われやすかったため、北・東・西日本の日照時間は多く、特に北・西日本太平洋側ではかなり多くなりました。

○台風等の影響で各地で大雨や大荒れとなり、北・東日本太平洋側と沖縄・奄美の降水量は多くなりました
北・東日本太平洋側では、台風第15号、第19号、本州南岸を進む低気圧等の影響で、降水量が多くなりました。沖縄・奄美では複数の台風が接近・通過し、降水量が多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:470KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko190911_besshi.pdf

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 村井(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341 (内線 4154) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341 (内線 3154) FAX 03-3211-8406